第36回 神奈川県福祉作文コンクール

“おもいやり”や“たすけあい”の心を育み、「ともに生きる福祉社会」の実現を目指して始められたこのコンクールは、今年で第36回を迎えました。小学生も、中学生も、お年寄りも、障がいのある人も、健康な人も、みんなで手をとり合い、肩くみあって、生き生き暮らせる社会を願って福祉作文コンクールを実施したところ、9,981編の作品が寄せられました。

■県内応募総数　9,981編
■市内応募総数　82編
（小学校の部 80編　中学校の部 2編）

県最終審査会において選考の結果、市内の応募作品から2編が入選しました。
おめでとうございます!!

小学校の部　準優秀賞…鎌倉女子大学初等部　1年　澤田（さわだ）彩愛（あやめ）さん
中学校の部　佳　　作…鎌倉市立岩瀬中学校　2年　岩淵（いわぶち）麻耶（まや）さん

●●●小学校の部で準優秀賞を受賞されました、さわだ あやめさんの作文をご紹介させていただきます。●●●

やさしいこころ

かまくらじょしだいがくしょとうぶ
一ねん　さわだ　あやめ

からだの ぐあいが わるく なるように、こころも かぜを ひくことがあると、おかあさんが おしえて くれました。

こころが かぜを ひいて しまうと どうなるのかな。げんきが なくなって、ごはんも たべられなく なって しまうのかな。いやな きもちが いっぱいして イライラして しまうのかな。

こころが げんきに なるために、どうすれば いいか、おかあさんと いっしょに かんがえました。まいにち ごはんを ちゃんとたべて、からだを たいせつにする。おともだちや かぞく、いきものを たいせつにする。おともだちや せんせいに きいてみる。こまったことは おうちのひとや せんせいに きいてみる。こまっている おともだちがいたら、たすける。けんかを したらなかなおりをする。

わたしは、ときどき おとうとと けんかします。わたしより さきに おふろで かみのけを あらいたがる。はみがきも さきにやりたがる。わたしも さきがいいので、けんかになります。どちらが さきにやりたがる。だいじょうぶだとおかあさんはいいます。

けんかをしたとき、おとうとは なみだを いっぱい ながして、いきが とまるくらいになきました。わたしは だんだん おとうとが かわいそうになりました。わたしが「ごめんね。」というと、おとうとも ちいさなこえで「いいよ、ごめんね。」といってくれました。わたしは、こころが れしくなりました。おとうとも、わらいました。

がっこうの かえりみち、さかをのぼっているとき、にもつを もった おばあさんが いました。わたしは、「おてつだい しましょうか。」といいました。おばあさんは、「もうちょっと おおきくなったら たのもうかな。」といいました。わたしは しんぱいで うしろを あるいていました。おばあさんがふりかえって、わたしに「ありがとう。」といいました。こころが ぽかぽか いいきもちに なりました。

こころを たいせつにして、こころがぽかぽか していると、きっと こころのかぜに ならないと おもいました。こんどおとうとに、「おさきに どうぞ」とやさしく いえたら いいなと おもいます。こころの やさしい ひとに なりたいです。

宮城県 山元町への支援（神奈川県共同募金会助成事業）

やまもと楽校「人、歌うとき…」

津波で大きな被害を受けた山元町の坂元中学校体育館で、参加者と先生が楽しく学習する「やまもと楽校」が11月18日（日）に開催され、その授業に同町教育委員会からの依頼を受け「人、歌うとき…」という音楽授業を行いました。

先生としてお願いしたのは9月17日に「心の支援コンサート」で同町を訪問し大好評を得た、亀田眞由美（ソプラノ）、坂元陽子（ピアノ）の2人のソリストの方です。

歌や演奏の合間に、「短調と長調の違い」「歌を上手に歌うコツ」の説明などがあり、楽しい音楽の時間を過ごしていただきました。

ティールーム開催します

お気軽にお立ち寄りください。

3月1日（金）10時から12時まで（お好きな時間にどうぞ）
鎌倉市福祉センター2階　第1・2会議室
参加自由（60歳以上の方）ぜひお越しください。
お菓子、飲物を用意しています。（参加費100円）
ケアマネジャー、社会福祉士、看護師等のスタッフが、相談をお受けします。

問合せ先　地域包括支援センター鎌倉市社会福祉協議会
電　話　（61）2600

自殺対策啓発

映画「樹の海」上映とトークイベント

～こころといのちを支えるために わたしたちができること～

日　時　3月16日（土）13:00～16:00　開場 12:30　第一部 映画「樹の海」上映　第二部 トークイベント
場　所　文化プラザなぎさホール
定　員　500人　※申し込み先着順。定員を超えた場合は連絡します。
申込方法　氏名・住所・電話番号を電話又はFAXで
電　話　神奈川県鎌倉保健福祉事務所保健予防課へ 0467-24-3900　FAX 0467-24-4379
主　催　いきるを支える実行委員会
（神奈川県鎌倉保健福祉事務所、鎌倉市、逗子市、葉山町、鎌倉市・逗子市・葉山町社会福祉協議会、地域活動支援センターとらいむ）

※手話通訳・要約筆記・車椅子席・託児（未就学児のみ10人程度）希望者は3月8日（金）までに申し込んでください。